

北海道社会保障推進協議会 報告 (2022年3月)

【情勢】

- ロシア政府・ウクライナ侵略(2/24～)
- 通常国会(1/17～6/15) 参議院選挙(7/10投開票)
- 新しい資本主義実現会議／●全世代型社会保障構築会議
- 2022年度予算案(診療報酬改定)
- 消費税増税に反対し減税 増税後、被害あり
(21年10月からインボイス受付開始 道内市町村で中止を求める意見書)
- マイナンバーカード 21年9月からデジタル庁
- 自治体戦略2040構想 公的役割縮小 民間委託など
- 気候危機問題 FFF・新婦人などアピール
- 日本・千島海溝地震 今後の震災対策 新型コロナウイルス感染対策も
- 優性保護法による強制不妊手術に対する国家賠償訴訟
- 新幹線トンネル残土問題(健康被害)
- 寿都町・神恵内村「高レベル放射性廃棄物最終処分場」受け入れ問題 「核ゴミ反対」神恵内村長選終了

■最近の主なとり組み

- | | |
|--|----------------------------|
| 2/9 中央社保協代表者会議 | |
| 2/17 75歳以上医療費2割化反対署名連絡会
地域医療と公立病院を守る道連絡会 | 3/1 地域医療と公立病院道連絡会(新型コロナ問題) |
| 2/18 道後期高齢者医療広域連合議会 | 3/6 女性デー北海道集会 |
| 2/19 いのちとくらしを守る 総決起集会
コロナ災害を乗り越え なんでも電話相談 | 3/7 介護に笑顔を！道連絡会 |
| 2/28 SOSネットワーク北海道事務局会議 | 3/9 中央社保協運営委 |
| | 3/11 重税反対行動 |

【報告事項】

■中央社保協運営委員会報告

3/9 中央社保協運営委

■新型コロナ感染問題

- 新型コロナ感染問題 売り上げ減、労働者の雇用・賃金、患者・利用者減(医療・介護崩壊)・機能悪化など、つながりなく孤立死も。政府方針転換 陽性者、入院が原則から 一部自宅が基本に 第6波

●道内の感染状況

8/18 陽性 50914 患者 4105(軽症・中等症 4083 重症 22)死亡 1433 陰性確認累計 45376
9/22 陽性 59866 患者 839 (軽症・中等症 822 重症 17)死亡 1468 陰性確認累計 57581
11/24 陽性 61086 患者 179 (軽症・中等症 171 重症 2) 死亡 1472 陰性確認累計 59441
12/5 陽性 61175 患者 96 (軽症・中等症 95 重症 1) 死亡 1472 陰性確認累計 59607
1/10 陽性 62133 患者 632 (軽症・中等症 632 重症 0) 死亡 1476 陰性確認累計 60025

2/6 陽性 113402 患者 31008(軽症・中等症 31005 重症 3) 死亡 1532 陰性確認累計 80862
 3/11 陽性 191910 患者 18949(軽症・中等症 18942 重症 7) 死亡 1851 陰性確認累計 171110

北海道における新型コロナウイルス感染症の状況(3月11日 現在)

(人)

累計検査数	陽性累計	現在患者数※			死亡累計	陰性確認済み累計
			軽症・中等症等	重症		
1,729,340	191,910	18,949	18,942	7	1,851	171,110
(前日比)						
+6,789	+1,644	▲914	▲912	▲2	+7	+2,551

(※)現在患者数は、陽性累計から死亡累計、陰性確認済み累計を差し引いた数

三次医療圏	現在患者数 (全療養者数)	入院患者 ※1	宿泊療養 施設入所者	自宅 療養者	施設 療養者	調整中 ※2	10万人 当たり 療養者数	確保病床数※3		
								フェーズ 1	フェーズ 2	フェーズ 3
全道	集 計 中							1,274	1,587	2,075
(前日比)								[87]	[102]	[134]
道央圏								767	916	1,089
道北圏								180	233	303
道南圏								96	126	208
十勝圏								145	145	150
オホーツク圏								36	54	117
釧路・根室圏								50	113	208

- (※1) 入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。
- (※2) 施設療養者は、社会福祉施設や確保病床以外の医療施設に入所(入院)している者。
- (※3) 調整中は、入院、宿泊療養、自宅療養、施設療養の対応を調整している者。
- (※4) 確保病床数は1,689床(うち重症110床)。フェーズ2で運用。但し、道央圏のうち札幌圏及び東胆振圏はフェーズ3相当で運用。
[]内は重症者用確保病床数。

新規検査人数計	本日の陽性者数	陽性率
6,761	1,644	24.3%

☆ 現時点における北海道の状況

	レベル ※1	移行指標				その他指標		
		病床利用率 ※3	重症病床 利用率 ※3	10万人当たり 新規感染者数 ※2 ※4	10万人当たり 療養者数 ※2 ※3	新規感染者数 今週先週比	感染経路 不明割合 ※4	PCR陽性率 ※4
全道	2	集 計 中	5.2% [7床] (6.0%)	220.3人/週 [11,519人/週] (275.3人/週)	集 計 中	0.80	59.3% (62.2%)	25.9% (29.1%)
札幌市	2		8.9% [4床] (11.1%)	285.6人/週 [5,602人/週] (386.1人/週)		0.74	78.2% (82.1%)	35.0% (40.8%)
全道 (札幌市 以外)	2		3.4% [3床] (3.4%)	181.1人/週 [5,917人/週] (208.9人/週)		0.87	41.4% (40.2%)	20.7% (22.1%)

レベル2移行指標	20%超	20%超	15人/週	20人超
レベル3移行指標	50%超	50%超	—	—

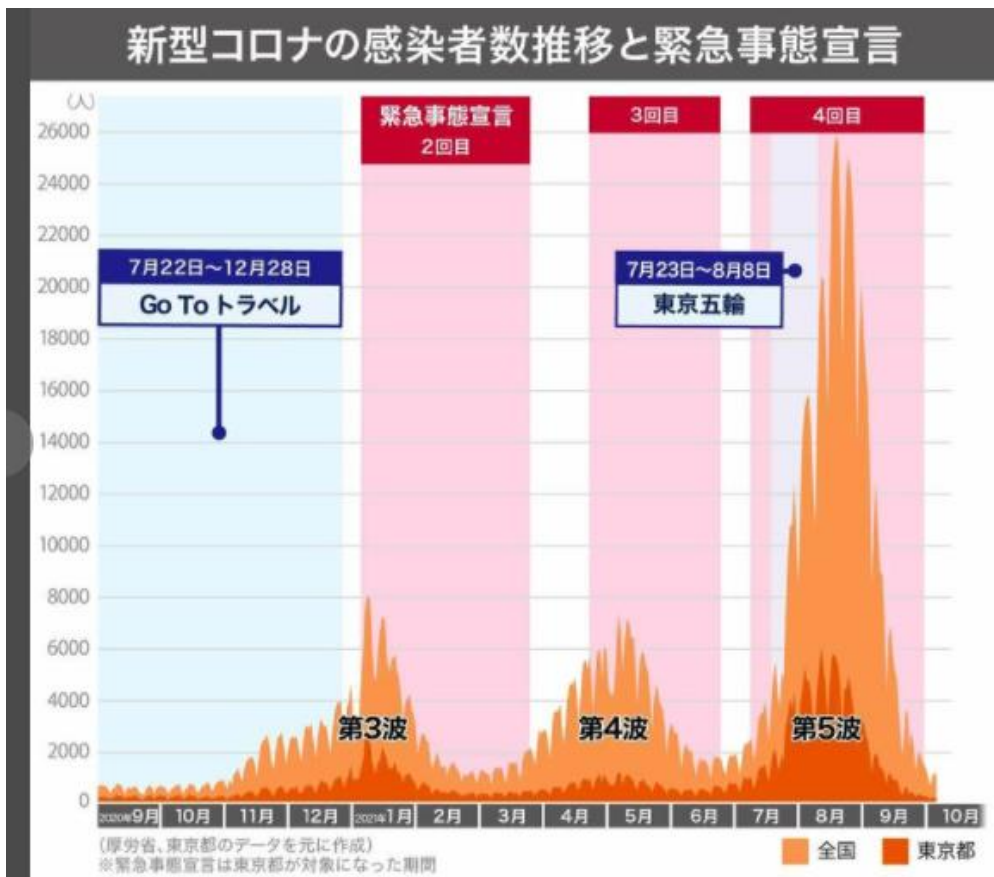
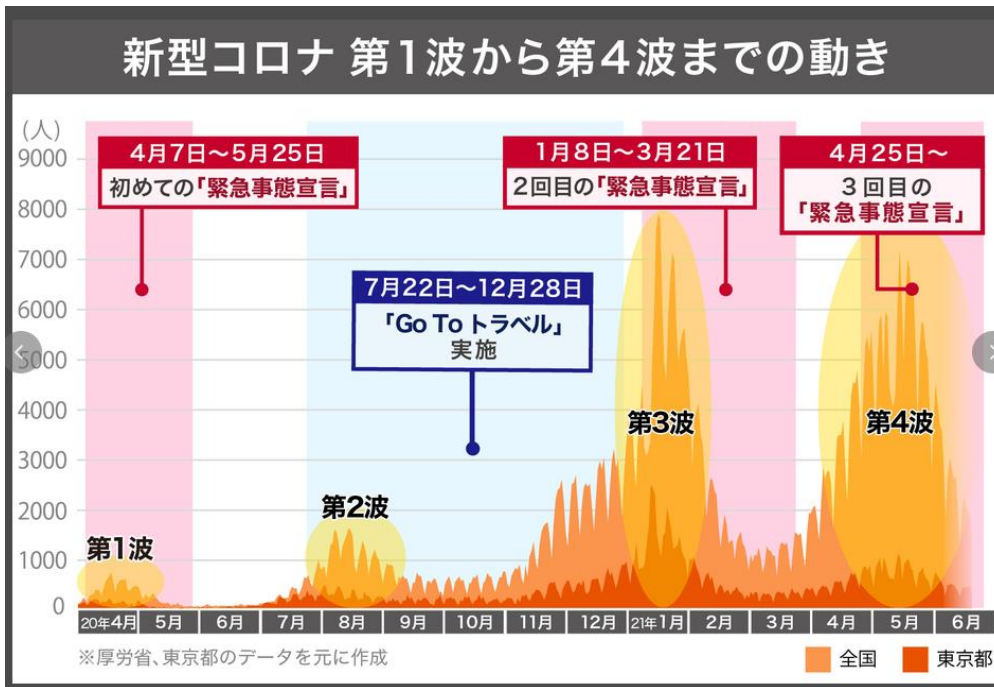
- (※1) レベル移行は、移行指標に基づき検討する。その際、その他の指標などもモニタリングし、感染状況等の分析や評価を行う。
- (※2) 10万人当たりは、令和3年1月1日住基人口 全道5,228,732人、全道(札幌市除く)3,267,157人、札幌市1,961,575人を基に算出
- (※3) 本日現在の数値、()は前週の数値、[]は病床数や療養者数の実数
病床利用率は、最大確保病床数全道2,075床(うち重症134床)、札幌市632床(うち重症45床)、全道(札幌市除く)1,443床(うち重症89床)を基に算出
- (※4) 直近一週間の数値、()は、前週一週間の数値、[]は新規感染者数の実数

【振興局別】新規報告数(1週間累計)

空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	その他	合計
255	6,547	569	689	51	710	30	1,123	85	33	189	691	411	53	83	11,519

感染の第1波～第6波 1日あたりの新規陽性者の報告数

第1波	2020年3月～5月	4/11 ピーク 720人	
第2波	2020年7月～8月	8/7 ピーク 1605人	
第3波	2020年11月～2021年3月	1/8 ピーク 7955人	アルファ
第4波	2021年3月～6月	5/8 ピーク 7244人	
第5波	2021年7月～9月	8/20 ピーク 2万5995人 (9/3 重症者 2223人)	デルタ
第6波	2022年1月～	2/5 10万870人	オミクロン



●新たな施策(経済対策:主なもの)

◇事業復活支援金

(22年3月まで 法人上限250万円・個人事業主上限50万円)

◇住民税非課税世帯に対する給付金 一世帯当たり10万円の現金 基本プッシュ型(申請いらない)

◇学生等の学びを継続するための緊急給付金

◇生活困窮者自立支援金の再支給

◇雇用調整助成金の特別措置等

◇看護、介護、保育、幼児教育など収入の引上げ等

◇子育て世帯への臨時特別給付金 子ども一人当たり10万円

◇コロナ禍の介護ヘルパー「特別手当」について

●各課題 各団体が国や北海道・自治体に要請(改善)

【発熱外来があふれている。検査キットが不足している。保健所の体制麻痺、3回目のワクチンも混乱している】

・国保資格証・短期証留め置き、保険料・一部負担金減免(後期高齢者医療)

・国保料・介護保険料コロナ減免

2021年度も多くの市町村で実施。札幌は昨年同様、減免申請書を送付する

保険料算定に持続化給付金が算定されるが、コロナ減免の昨年度の収入には入らない 国保料値上げも

持続化給付金などの給付金は、課税対象外 (浦野広明鑑定書)

大雪広域連合で、低所得高齢者減免など独自減免

・傷病手当金、税猶予、減免など

◇赤平市(個人事業主 傷病給付金 5000円×日数)、美幌町(傷病見舞金 30万円)

・労働者の感染の労災扱い

・生活費問題 困窮者自立支援金

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

・生活保護問題 簡便な手続き ワクチン接種会場への交通費

・住宅問題 一時生活支援事業、住宅確保給付金(要件強化。受付延期)

・労働雇用問題 雇用維持、休業・給与補償(雇用調整助成金等) ⇒休業支援金・給付金(縮小)

・小学校休業等助成金 個人申請

・経営問題 資金繰り、固定費等の補償、(人件費の補償)

自治体の「支援金」 持続化給付金、家賃支援 (受付終了)

一時支援金、月次支援金

・学生問題 学費、奨学金、アルバイトの給与補償、家賃補助 学生給付金の再給付

民青同盟などが、食料支援とアンケート・相談活動 継続

・医療機関・福祉・介護事業所 収入補填、人件費 制度を利用せず、身体機能低下する人も

・保育、学童、学校など 収入補償、学習保障

・PCR検査 医療機関、高齢者施設、住民・高齢者 市町村 助成

・ワクチン 医療従事者接種遅れています。高齢者の混乱

・「生理の貧困」 生理用品の学校などの配置

◆春に向けた要求行動

新たな経済対策の拡充を求める。持続化給付金(1回だけ)、家賃支援(手続き複雑)、緊急小口資金・総合支援資金、住宅確保給付金、失業保険(期間あり)など 制度の延期・拡大や改善

◎住民税非課税世帯に対する給付金、子育て世帯への臨時特別給付金について札幌市への要請(1/14)

⇒回答あり

○住民税非課税世帯に対する給付金

- ・2021 年度住民税非課税世帯、全てに支給を(親族が扶養控除を取得している世帯などは不支給のため)
- ・2021 年度中に急変し非課税世帯になった場合は申請が必要。周知を
- ・所得制限を撤廃し、全ての世帯に支給を

○子育て世帯への臨時特別給付金所得制限の撤廃 千歳市では撤廃

児童手当世帯は申請しない (16~18 歳は申請必要)

- ・医療介護系国家試験の追試要請 (新型コロナウイルス陽性者は受験できず)

- 制度の学習 2021 年度補正予算に基づく施策も
- 相談活動 各団体が相談活動
コロナ問題雇用と暮らしの緊急ホットライン
- 災害問題

■当面の取り組み

◆ナショナルミニマムの保障

○生活保護 新・人間裁判

21年 4/12 控訴 (原告 105 人) 第 1 回控訴審は 3 月以降?

生活保護基準について課題整理(健康で文化的な生活の基準をどう定めるかなど課題)

生活保護費見直し

2018 年 10 月から 集団不服審査請求:1031 件 20 年 4 月 再審査請求(882 人)

2019 年 10 月から 集団不服審査請求 950 件

2020 年 11 月から 集団不服審査請求 1019 件 採決が今年中に届くので再審査請求準備

⇒2018 年以降の改悪に対する裁判の取り組み方について検討は始める

扶養調査問題 (厚労省が一部改定)

級地変更の動き(基準引き下げの危険も)

北海道特別生活資金(冬季生活資金) 生活保護世帯も対象になった

◆生活保護利用者への福祉灯油を収入認定するため、他より減額する動きあり。

月額 8000 円までを収入認定しなくてもよい(8000 円を超える場合は 12 月で割る。年間 96000 円まで可能)

◆障害者の生活保護者の保有が認められた車の利用について

◆ストーブ裁判(生活保護利用者 故障したストーブの買い替え申請、却下) 署名など

○年金 北海道年金裁判 控訴審 証人尋問 香取氏(元厚労省年金課長)さら出席せず

被告が 100 点の資料提示 進行協議中 次回は 1/27(原告 地裁に差し戻しも要求)

来年度予算案 0.4%ダウン

○最低賃金・労働問題

最低賃金 2021 年 28 円引き上げて 861 円⇒889 円

医労連:看護師・介護職員の産別最賃

◆社会保障・税一体改革(全世代型社会保障改革)に反対し、社会保障の充実を求める取り組み

①国に対する働きかけ

新自由主義政策の矛盾露呈 新しい社会へ

新型コロナウイルス感染を通して、これまでの社会保障費削減、民営化路線(新自由主義)の破綻あらわに
対案を宣伝・対話で広げる (野党の政策へ)

・世代間公平論、財政危機論、自己責任論の克服

○社会保障・税一体改革(消費税増税、社会保障改悪・産業化)・一体改悪後の内容(高齢者を働ける)、社会保障
のあり方・財源問題(負担のあり方)、改革の方法を、組織の基礎単位での会議も含め大小の学習会を開きましょう。

マイナンバーカード・デジタル化問題 (社会保障誌 黒田氏本)

・調査活動

道民医連 冬季高齢者生活実態調査・経済的事由による手遅れ死亡調査

・署名の推進

新介護署名

75歳以上の高齢者の2割負担中止署名

道連絡会(年金者組合・新婦人・医労連・民医連) 関連署名4万筆/目標10万筆 次回3/17

新しいのち守る署名

マイナンバー中止を求める署名 自治体への影響、個人情報漏洩など危険多い

◎北海道社保協として、署名付きハガキをつくる(そのため、料金後納の手続きをする)

・宣伝 4/15 年金支給日 4.1 宣伝

・国会議員要請・政府交渉等 各団体が、国会や政府交渉・中央集会 地元国会議員事務所との懇談

・自治体要請

新しいのち署名で自治体要請

3月議会 高齢者医療2割化中止(保険料値上げするな)/新しいのち署名項目/介護保険/国保など

○いのちとくらしを守れ、集会 2022年2月19日午後 共済ホール 100人参加(YouTubeでも視聴)

メイン講師 神田香織さん リレートーク デモも

○国の責任で医療と介護の充実を求める取り組み

・各実行委員会参加団体に意見を聞き、今後検討。

②自治体への働きかけ

◆医療と介護

○国保(都道府県単位化)

保険料をつかみ、軽減求める。資格証明書、滞納処分問題、一部負担金減免の充実

2019年度決算 多くの自治体で積立金ある

□国の負担を増やし、協会けんぽ並みの保険料 (共産党が提案)

*自治体議会から国への意見書 (運営委員会で要検討)

*全国署名 要検討 (中央社保協でも検討中)

□国保運営方針について

保険料水準の統一(値上げ) 赤字自治体(解消計画) 徴収強化

7者会議で道へ申し入れ(12/20) 回答(1月27日) 2/9事務折衝中止 どうするか?

道の回答を検討し、要請する

納付金は2月下旬HPで

一部負担金減免の周知と利用、改善させる取り組み

道が一部負担金減免要綱(標準例)作成 昨年8月頃までに市町村で検討

改悪の可能性あり、市町村の調査(概要) (道生連がチラシ作成検討)

国保は社会保障 加入者は低所得・国保料(税)高い 払える国保料に

□保険料軽減・減免の取り組み

新型コロナウイルスに関連する減免 (道内各地で違いあり)

□子どもの均等割の減免について

道内 旭川市で5割減額へ復活(昨年度までは3割減額・5年後に廃止の方向だった)

赤平市で全額免除 大雪広域連合(高校生まで半額)

上富良野町で、大学生まで

国も 就学前の子は半額に 各自治体で拡充求める

◆国は、一般会計からの繰り入れを制限

○地域医療

地域医療と公立病院を守る道連絡会報告

■新型コロナウイルス感染問題

◇相談体制 保健所の体制:大幅減と体制不足 効率化優先の影響

◇検査体制 医療機関、介護・福祉分野など社会的検査の推進必要

高齢者施設 定期検査(通所施設も)

◇患者の受け入れ医療提供体制

感染症病床数少ない、救急患者受け入れ体制少ない、職員体制も少ない

札幌市を中心に医療崩壊状態 入院だけでなく、ホテルにも入所できず、自宅、施設で療養す

る事態になっている。地域ごとの対策必要。

◇ワクチン接種

希望者が接種できるように改善必要。 無料接種

■北海道医療構想 2次医療圏ごとに具体化(地域医療構想は既に具体化中) それぞれ対応必要

○高齢者医療

75歳以上の窓口負担2割負担をやめさせる・現行制度。

署名:民医連や年金者組合、新婦人などで取り組み

道段階での共闘組織 年金者組合から、高齢期連絡会、道民医連、道社保協で8/19懇談開始

署名連絡会として会議(次回3/17) 関係署名4万筆超えた

自治体意見書:

高齢者関係者組織にも働きかけ 会議・集会を要検討

2022年度保険料 わずかに引き下げ(軽減後は値上げ)

後期高齢者医療広域連合と懇談(1月6日) 保険料、一部負担金など要請

保険料は2月18日の議会で決定 一人当たり93348円 現在比92円減

／75歳以上の一部負担金値上げ(道内15万3千人が対象)

○子ども医療費無料化の取り組み

北海道 子ども医療費ネット

札幌市への署名(内容一部変更) 札幌市、北海道へ団体署名も

旭川市、函館市、美唄市などで、中学卒業まで無料へ

市町村・国の制度改善の取り組みの強化を

○難病医療 難病法改定に対する働きかけ

○介護

◆必要な介護が受けられるように、新総合事業と介護保険計画、高齢者保健福祉政策への働きかけ

国の補足給付等の改悪(21年8月から) 影響大きい 影響を増えて、制度の改善、自治体への助成など求める

北海道民医連 1/26 記者発表

介護に笑顔を道連絡会 次期介護報酬に向けてアンケート中 新介護署名

新総合事業について 21年度の実態把握

介護職員の確保 ヘルパー、ディサービス事業所各地で閉鎖(職員確保できず)

特養など各地で欠員のため、待機者があっても、空室あり

【政府の賃上げでは不十分・介護職員の値上げさせる取り組み 2/6 道労連でリモート集会

特養待機者 道内 11663 人(2019年4月)

■介護保険事業計画・高齢者福祉計画

保険料・利用料軽減 高齢者保健福祉施策の充実

保険料 引上げ 91	据え置き 46	引き下げ 19
------------	---------	---------

◆自治体要請

- | | | |
|------------------|---|----------------|
| ○介護保険料に関する要求 | ／ | ・利用者負担に関する要求 |
| ○介護従事者処遇改善に関する要求 | ／ | ・新型コロナ対策に関する要求 |
| ・介護基盤整備に関する要求 | ／ | ・総合事業に関する要求 |
| ・「自立支援施策」に関する要求 | | |

入管法改悪(外国人労働者受け入れ:介護) 学習会(講師 小野寺弁護士) 日程調整

◆子育て

待機児童問題・保育所の経営・保育士の処遇問題など 実態をつかむ。働きかけ検討。

給食費無料(美唄市 小中)

就学援助 3項目(美唄市も)

◆障害

医療的ケア児の保育の充実について 法律成立

道医療費助成拡充 65歳 介護保険優先問題

◆その他の地域要求

「補聴器に公的補助を求める」意見書採択広がる

各地で要請広がる 北広島市議会で決まる

署名 札幌・函館・根室でも

新婦人は全支部に、自治体への要請書案を示して、呼びかけています。(岩見沢でも)

無料低額診療

保険薬局も対象に、また、自治体の薬代助成

・保険薬局適用求める意見書及び自治体の薬代助成

帯広市は 2021年10月から

札幌市要請(21/10/15)

□福祉灯油

札幌市 札幌市社保協 要請したが実施しないと回答／年金者組合 要請したが実施しないと回答
道生連など69団体が陳情 市議会厚生委員会で継続審議に(採決賛成 共産党だけ)
市は、「効果が限定的」「困った人は、福祉事務所かステップ(就労支援センター)に」
「非課税世帯を対象に 10 万円給付される。その利用を」との回答

札幌社保協がさらに運動すすめる 3/15 公明党と共産党と懇談・要請

各地で実現、さらに拡充を(小樽社保協) / 各地で申請サポート

III. 北海道社保協、地域社保協の強化・結成

■地域社保協の活性化、結成について

■学習会の開催(検討) 他団体とも相談する Webシステムを使った学習会を検討する
○自治体戦略 2040 と社会保障 ○公衆衛生・保健所の再生 ○新型コロナ対策と災害対策

■2022 年北海道社保学校について

日時や場所について検討中 場所については、下記の順に現地と相談する
釧路市(08 年)で検討中 帯広市(13 年)・室蘭市(14 年)・江別市(15 年)・苫小牧市(16年)

◆その他

◎『笑顔でくらしたい』 **普及 安定的発行のために 850 部めざす (採算点 835 部)**

1 月号:737 部 最低あと 98 部

■加盟団体に 1 部以上の普及

■誌面の拡充 通常号広告費 依頼開始

4 月号の企画

○相談活動 『くらしに役立つハンドブック』改訂版(新型コロナ制度も) 普及を
○雇用・くらし・SOS ネット北海道 電話相談 次回 4/23 次々回 6/11

【今後の予定】

■第 5 回運営委員会 3 月 25 日(金) 14 時～

■総会日程(案) 参議院選挙後の土曜日 7/30

【日程】

3/14	<u>道社保協事務局会議</u>	4/6	中央社保協運営委
3/15	東北・北海道ブロック会議	4/11	雇用・くらし・SOSネットワーク事務局会議
3/17	75 歳以上医療費 2 倍化反対連絡会	4/20	マイナンバー反対連絡会 学習会
3/25	<u>道社保協運営委員会</u>	4/23	道民医連総会
3/29	地域医療と公立病院を守る道連絡会		コロナが以外を乗り越える なんでも電話
4/1	4.1 宣伝	5/1	メーデー
4/4	介護に笑顔を！道連絡会		